

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
		長浜市の移住者を増やす	長浜市
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	全人類長浜市民計画		

(注1) 地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報

下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名(公開)	究理 10 班		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	ドロップダウン選択→	3
チームメンバー数(公開)	5 名		
代表者(公開)	羽瀨真広		
メンバー(公開)	吉田翔皇		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

1. 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

＜応募内容の公開＞

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名（[メンバー一覧ページ](#)を参照）、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示—非営利)4.0 国際 73 ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OKなら右欄の○を選択 →

OK

＜チームメンバー名簿：[メンバー一覧ページ](#)＞

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動(サービス)を行うのかを具体的に示してください。

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

将来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でわくわくするようなアイデアを求めます。その結果、課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。2 ページ以内でご記入ください。

※応募チームとして解決したい課題のポイントを、以下にごく短く書いてください

< 解決したい課題のポイント >

長浜の人口減少の解決

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアか、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこで』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみる）が大切です。

< 提案するアイデアの内容 >

関係人口の考え方を使い、長浜の経済効果を上昇させながら長浜の人口をふやす。

そのために観光的な計画を立案する

長浜市の観光の長所を調べてそれを使い

関係人口に基づいた計画を立てる

それを市役所の観光課の方と吟味しつつこれからのプランの参考になるよう、もしくは本当に実現できるようなものにする

ここまでが大まかな内容

詳しくいうと観光と長浜の長所を長浜の住

みやすさへのアピールに上手く転換してそれ

らの内容をポスターにまとめ市役所の方々と

確認、是正しその後宣伝用の広告用紙

（ポスターやパンフレット etc.）

を作成、またこれを市役所の方々と吟味しつつあくまでこれ全体の計画を新たな視点の先駆けとして今後の参考になるよう、あるいは市役所の方々の協力し、実現するこれを私たちがやるメリットとしては、現代の若者が必要としていること(ニーズ)が理解できることや私たちが暮らしている地域や社会の現状を今まで見たことなく、意識したことがないような新しい多角的な視点でこの市が置かれている惨禍を知ることができる。または今県が役所を通して行なっているプロジェクトやその概要、目的、意識、最終的な理想像について深く知ることができる点などが挙げられる

--

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

＜参考：以下のように理由を書いていきます＞

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）ま

まずこのプロジェクトが必要な理由については長浜市の人口(特に若年層)の流出が理由となる。

今まで取り行ってきた受け身の福祉のプロジェクトでは人口た減少のデータが示すように減少を抑える効果があるかもしれないが、人口は増やせないと判断し、こちらからどんどん呼び込むようなプロジェクトにできないかと考えた上で観光を使うことにした

他の県のこのような事例のプロジェクトの成功の例を調べてみると、長浜市の観光客数は成功しているような県と遜色ないくらい多いこと(大河ドラマシーズンでは大きく超える)ことがわかった。立地的な部分でも京都、大

阪、名古屋などの人口が多い地域も近いことからこの計画が有効的であると考えた。このプロジェクトが実現する意味については先述したとおり人口減少を食い止め、また人口増加へ繋がることや、その観光が人気にならないと大きな効果は得られないということから観光客数の増加によるさらなる経済効果がもたらされる、普遍的なものにするのなら持続的なものにし、これからもそのプロジェクトを続けられることなどが挙げられる。またこれらのプロジェクトを立てていく上で鍵となっていくのが歴史だと考えられる。歴史的要因が長浜市の観光を引っ張っていることは市役所のプロジェクトや例年の歴史系のイベントが開かれた時の観光客数などからわかる。これらは若者のニーズと少し相対するものもあるので、それらも上手く対処する

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

[illegible]

参考

https://www.city.nagahama.lg.jp/cmsfiles/contents/0000011/11263/vision_honpen.pdf

https://www.city.nagahama.lg.jp/cmsfiles/contents/0000011/11263/vision_shiryoku.pdf

(3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大まかな流れについて、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

実現する主体については先述の通りの歴史と関係人口を活用した観光政策または現体制の改善とする

このプロジェクトに必要なものはヒトの観点については市役所の方々やもし本当に実現可能までいったケースにおける観光協会や市長といった人々が必要で調達方法については市役所から調達するものとする
モノの観点についてはポスターやパンフレットなどが挙げられる

時間軸を含むプロセスに関しては 12 月中に観光案の完成、そして色々な方々と協議を重ね 1 月にできるのであれば観光協会や市長に通してもらおうものとする